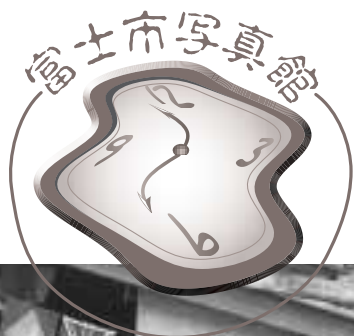




= 26 =

## 菊花展



昭和44年10月28日  
(JR東田子の浦駅)



現在の東田子の浦駅は、スロープや  
手すりが設置されています



たくさんの方が訪れる駅を目指して  
菊花展は、JR東田子の浦駅の開駅を  
きっかけに、昭和三十一年から始まりま  
した。菊づくりに情熱を傾ける市民が、  
駅のある元吉原地区を菊の産地として宣  
伝し、ふるさとの駅をたくさんの方が訪  
れるような有名なものにしようと、平成  
八年まで計四十回行われました。

色とりどりの菊でホームいっぱい

菊花展は毎年、地元の人や市内の菊愛  
好家など約八十人が参加して行われまし  
た。駅のホームは菊の鉢でいっぱいにな  
り、黄色や白色で彩られ、とても豪華で  
した。ホームがちやうど段々になってい  
たので、鉢を飾るのにびったりでした。

菊花展の評判は、電車を利用する人た  
ちの口コミで次第に広がりました。名古  
屋や栃木など、県外から車で来る人もい  
て、とてもにぎわっていました。地元の  
テレビ局が評判を聞きつけ、取材に来た  
こともありました。

今は、十月下旬から十一月中旬まで、  
新富士駅で菊花展を行っています。駅を  
利用する皆さんに喜んでいただけるよ  
う、これからも続けていきたいです。



東田子の浦駅での菊花展  
運営に携わっていた  
大森 茂さん(伝法:右)  
菊花展に長年出展している  
落合 政治さん  
(伝法:左)

### こちら編集室

体育の成績はいつも「3」、走る  
より転がった方が早い? そんな私  
が担当した今回のスポーツ特集、  
「どうなることやら」と不安でした。

取材でお会いした皆さんは、生  
き生きとして、スポーツを心から  
楽しんでいるのがよく伝わってき

ました。共通していたのが“仲間”  
の存在。「仲間がいるから楽しい、  
続けられる」。そう語る笑顔がとて  
もすてきで、私もスポーツを始め  
たくなりました。ダイエットもで  
きて一石二鳥? なんて都合のいい  
こと考えちゃダメかな…(り)

人 口 243,441人 (前月比+109)  
男 120,940人 (+20)  
女 122,501人 (+89)  
世 帯 87,103世帯 (+59) 9月1日現在  
編集・発行 富士市総務部広報広聴課  
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100  
☎0545-51-0123(代) FAX 0545-51-1456

